



2014-6
第 682 号

京都青年

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

ホームページ <http://www.kyotoymca.or.jp>

京都YMCAの使命

京都YMCAは

- ・イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、青少年と共に精神・知性・身体の全人的な成長を促す運動をすすめます。
- ・人々との出会いを通じ、互いの人権を尊重し、生涯にわたって共に学び合う学習活動を展開します。
- ・地球的な視点から、望ましい環境の実現につとめつつ、いのちあるすべてのものがともに生きる平和な世界を築く運動を展開します。

〒 604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 ●京都版発行人／神崎清一 THE YMCA 2014年6月1日発行（毎月1回発行） 昭和22年10月27日第三種郵便物許可

未来のYMCA運動への期待

変化の激しい今日、5年後の姿も想像しかねるほど状況が変わりつつあります。しかし、多くの先進諸国で同じ方向に向かっていているようにも思えます。それは、(1) 行政が本来やっていた仕事（教育、健康、医療福祉、保育、スポーツなど）が、次々と民間に委託されていることと(2) 観光、スポーツなど「レジャー」と呼ばれていたものが、健康維持や学びに必要な活動という拡がり方をしていること(3) 生活が豊かになり、快適に、より便利になる一方、人々は、不満を感じ、利己的になりつつあるという矛盾が起きていること(4) 世界の人口は増え続けても、先進国では人口が減少し、高齢化が急展開していること などであります。

さて、こんな将来社会において強いYMCAの条件は何でしょうか。

一つ目は、「YMCAはユースのためにある」というイメージの定着。世界YMCA同盟もこれを誰もが認識できるようにすることを目指しています。若い人たちが活動を企画し、その

中でリーダーシップを発揮できるようになるかということが問われます。

二つ目は、社会状況の変化を先読みした動きができる柔軟で研究心の富んだあり方です。世界同盟では「若者の就労、健康、社会的参画そして環境」をYMCAがとりくむべき課題としています。アジア太平洋同盟では



「地球市民教育、環境、教育的観光事業、YMCAにおける女性の参画、宗教を超えた平和活動」といった具体的な目標を挙げています。

三つ目はリソースモービリティです。多くのYMCAでは、事業による収支差をもって若者の育成やボランティア活動に充てるという「余裕があればやる」と言う発想でしたが、見直しが求められます。社会的に意味ある活動なら、寄付を集めるか、どこかの団体から資金を出してもらおうような働きかけが必要です。社会のためにYMCAが道具になること、そしてYMCAに協力したいという人たちがリソースで、そういう力を集めることがモービリティ・リソースなのです。リソースモービリティを成功させると、YMCAが社会的に見直されることにつながります。

四つ目は、YMCAの働きや特徴、そしてその効果を具体的に証明することです。

五つ目は、パートナーシップ



筆者：山田公平氏

です。地域の行政と組む動きは先進国では当然の動きになっており、これからは、新たに教会や、大学、病院、あるいは福祉施設などと協力関係を築くことが大切です。病院は病気を治すところ、企業は収益を上げるのと、大学は学生の学びと就職、教会はキリスト教伝道を主な目標にしていますが、それだけでは満足しない社会です。企業は社会的存在価値が問われ、大学は研究を社会的課題解決につな

げること、病院は病気の予防に力を注ぐことが求められる時代になり、YMCAのような団体と共に新しい社会づくりを提案する傾向にあります。世界でこういったパートナーシップが生まれていきます。

そこで、創立125周年を迎えられた京都YMCAには、社会状況の変化を見通し、どういうプログラムが必要になるかを考え、具体的に、達成可能な目標を設定し、どういう効果が予測できるかを具体的に示していくことを期待します。そして、目標を共有できる団体や企業と協働し、その上で若者の参画を得、国際社会との関連を持つことなどがYMCAらしさをさらに強調することにもつながっていくと思います。こういった将来ビジョンに向かってどんどん進んでいけることが私の願いです。



アジア太平洋YMCA同盟

総理事 山田 公平

(2004~2009年)

日本YMCA同盟総理事

(2009年~現職)

2014年、ワイズメンズクラブ京都部の3つのクラブが記念の年を迎えられました。

- 2月16日 京都東稜ワイズメンズクラブ 10周年記念例会
- 4月5日 京都キャピタルワイズメンズクラブ 30周年記念例会
- 5月11日 京都めいぶるワイズメンズクラブ 30周年記念例会

3クラブがそれぞれ記念事業としてリトリートセンターに改修ご奉仕と寄贈をしてくださいました。

京都東稜ワイズメンズクラブは食堂棟天井・壁の改修工事、京都キャピタルワイズメンズクラブは障がい者の方にも使いやすいトイレ棟の新築、京都めいぶるワイズメンズクラブはみんなが集う野外ステージの改修をしてくださいました。

各クラブのみなさんがリトリートセンターに何度も足を運び、ご奉仕いただくことでさらに素晴らしい研修センターになりましたことを感謝をもってご報告いたします。

報告 神崎 清一



京都東稜ワイズメンズクラブ



京都キャピタルワイズメンズクラブ



京都めいぶるワイズメンズクラブ





4 月 20 日 (日)、宇治市にある京都 YMCA リトリートセンターにおいて、京都 YMCA 創立 125 周年事業、今年で 15 回目と

夜桜フェスタ

活動報告

満開の夜桜のもと、スポーツ、アウトドアクラブなどの YMCA 会友、今回も各ワイズメンズクラブのご協力により招待された、YMCA 国際福祉専門学校生徒やリーダー、ワイズメンズクラブメンバーなどの YMCA 会員およびご家族、関係団体など、286 名の方に来場していただきました。会場では食べ物屋台や関係福祉団体からの作品販売、京都 YMCA 創立 125 周年を記念しての国際協力チャリティーバザー、ステージではブルーグラス、ものま



なる夜桜フェスタを開催しました。1999 年から始まった夜桜フェスタは、多くのひとが集い憩う場としてリトリートセンターを用いていこうという、ワイズメンズクラブメンバーを中心とした YMCA 会員によって企画されました。



ね、パントマイムなどの大道芸があり、たくさんの方で賑わい、ライトアップされた夜桜のもと、交わりの時を持つことができました。中でも、YMCA 国際福祉専門学校日本語科のみなさんは、日本の春の花の象徴である桜のもと、他の参加者との「日本語」での交流も、楽しんでいました。開催にあたっては、YMCA 会員によるリトリートセンター専門委員会、ワイズメンズクラブメンバーを中心とした実行委員会において、屋台内容、ステージ内容などの検討を行い、当日をむかえました。また、京都にあるワイズメンズクラブのうち 15 クラブ、YMCA ボランティアアグループ VOLATZ から屋台出店や雨天対策のテント設置の協力や、京都エイブルワイズメンズクラブが日常的に支援をしている福祉団体の「こもれび」「野の花」にも作品販売を

京都 YMCA のボランティアビュローでは、このユニバーサル上映を行うことで多くの方に様々な障がいのある方をサポートする方法のあることを知ってもらい、ボランティアに参加してもらおうと 5 月 10 日 (土) に同志社大学寒梅館で同志社大学社会学部と共同し、125 周年記念事業として開催しました。



視覚に障がいのある方、聞こえに障がいのある方も、その他身体に障がいある方も健常者と一緒に映画を楽しめるようにさまざまな配慮のなされた上映方式がユニバーサル上映です。

ユニバーサル映画上映会

上映後、ボランティアアビュロー登録グループの紹介や、5 月から始まる「ボランティア養成講座音訳 (朗読)」のアピールもされました。

報告 藤尾実
https://www.facebook.com/kyoto.ymcaretreacenter

当日は 140 名の方が来場されました。白杖をもって手引きの方と一緒にこられた方、盲導犬と一緒にこられた方、介助犬と一緒に車いすで来場された方など様々な方が来て映画を楽しみました。今回上映した映画は、「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」という三浦友和と余貴美子の主演の映画でしたが、上映後に参加された方からは、「良かった」「楽しかった」「補聴器でも聞きやすかった」という声や、「先日は、映画を楽しませていただき大満足でした。ほんとうにありがとうございました。」など感謝の声が寄せられました。

報告 加藤俊明

information

京都 YMCA 創立 125 周年 キャッチコピーとロゴマーク募集

125 の記念事業のひとつとして、広く会員のみならず、広く市民のみなさまから 125 周年のキャッチコピーとロゴマークを募集いたします。京都 YMCA に関わる会員・スタッフが協働して活動の企画・推進を図り、一人の 125 歩だけではなく、125 グループの一步を創り出し、市民と共に歩みはじめるプログラムを飾るキャッチコピーとロゴマークを作ってみませんか。みなさんからのご応募をお待ちしております。

- (ご参考) 80 周年記念テーマ「愛ある地域、平和な世界」
90 周年記念テーマ「広げようウエルネス 育てよう地球人」
100 周年記念テーマ「100 年の歴史 生かそう未来へ」



2003 年、100 周年の機会に歴史資料に基づき、
1889 年 2 月 12 日を京都 YMCA 創立日としました

- 募集内容：「京都 YMCA 創立 125 周年を記念する」「青少年、子ども、家族」「国際協力、平和」「障がい児・障がい者と共に生きる」などをキーワードにした
1) 京都 YMCA 創立 125 周年キャッチコピー (字数 20 字以内)
2) 京都 YMCA 創立 125 周年ロゴマーク
* 1) 2) どちらかでも、1) 2) 組み合わせてでもご応募いただけます。

締 切：2014 年 6 月 16 日 (月)

応募方法：郵送、FAX、E-mail にてお名前・連絡先・YMCA での所属を明記のうえ、ご応募ください。
郵送：〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入
FAX：075-251-0970
E-mail：kyl25@kyotoymca.org
京都 YMCA 創立 125 周年事業事務局宛

結果発表：選考委員会で決定し、会員協議会 (6 月 27 日) で発表します。

創立 125 周年 2014 年度会員協議会

公益財団法人京都 YMCA 第 3 回会員協議会を開催します。
会員協議会は、京都 YMCA の会員が一堂に会し、それぞれのグループ活動報告や京都 YMCA 全体の一年間の事業報告を通して、京都 YMCA の活動の全体を知っていただくことのできる機会となっています。多くの会員のみならず、市民のみなさまの参加をお待ちしています。

日 時：2014 年 6 月 27 日 (金) 午後 7 時～
場 所：京都 YMCA 三条本館 地階マナホール
内 容：グループの活動報告、感謝の時、125 周年事業関連報告など

事前に出席連絡を京都 YMCA 本部までいただければ幸いです。
京都 YMCA 本部 Tel：075-231-4388
Fax：075-251-0970
E-mail：kyoto@ymcajapan.org

YMCA
ワイズメンズクラブ

京都パレス ワイズメンズ クラブ

京都パレスワイズメンズクラブ
第 43 期会長 小西 孝典

例会日：第 2・4 木曜日
会 場：京都プライトンホテル
設立年月日：1971 年 1 月 19 日メンバー
メンバー数：64 名

パレスクラブの親睦と研鑽の取り組みについて少し書きたいと思います。

お陰様で、現在パレスクラブは西日本区最多のメンバーを有するクラブであります、その会員数によるスケールメリットにより多くの事業や活動を実践して居ります。

しかし、なぜ多くの人々がクラブに集まるのか？

それは、パレスメンバーが人数が多いだけでは良いクラブだとは思っていないからです。内容が伴い充実した活動が有り、その魅力で沢山の人が集まり、その結果会員数が多くなったクラブが真の優良なクラブだと思っているからです。

しかし実際は相反して人数が多くなると、そのメンバー数の個性が集まり、クラブの活動に深く関わっているメンバーから入会間もない新人、職業も各種そして年齢も 20 代後半から 70 代まで実に多種多様なメンバーが在籍する事と成り、コミュニケーションがなかなか取れないバラバラな状態に陥りやすくなります。

そこでパレスが大切にしているのが、色々な形の親睦です。例会・委員会は勿論ですが、奉仕活動・同好会活動や飲み会などを通じ、親睦を深め親密なコミュニケー



ションを持ち活動をする。

そこから生まれるメンバー同士の友情、そして互いに切磋琢磨し自己研鑽することで高められた自分自身を奉仕活動に結び付けることの連鎖。

その連鎖がクラブを強化・良質化し、またより多く社会に奉仕・還元が出来る事となるのです。要約すれば、

コミュニケーション+親睦+友情+研鑽
＝クラブの繁栄と充実した奉仕活動です！！

上記の理想に向けて親睦を大切に、日夜活動しているのがパレスクラブなのです。



YMCAに つながるわたしたち

皆様初めまして京都ウエストワイズメンズクラブの塚本です。

まずもって、京都YMCA創立125周年おめでとうございます。この様な長い歴史の中に少しでも関わりを持たせて頂いた事にクラブを代表いたしまして感謝申し上げます。

クラブ活動内容は、昨年度、京都部長、Yサ主査を輩出させて頂いた事も昨年YMCAとのかかわり、リーダーのサポートに力を注いでまいりました。

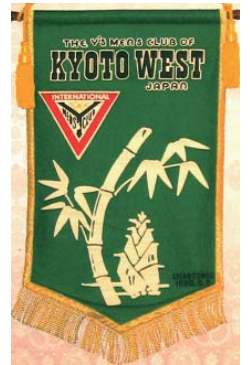
ウエストクラブの特徴といたしまして、一言で言うと「タレント揃い」だと思えます。

今までウエストクラブ並びにワイズメンを引っ張ってきた重鎮もいれば、30代のフレッシュなメンバーもいますし、ワイズメンを大空から撮影するメンバーもおります。

なんといっても前期の部長、Yサ主査は女性です、我ウエストクラブは女性の力をすごく大切にしているクラブだと思えます。因みに今期の会長も女性です。

多種多様なメンバーが同じ方向を向きYMCAをサポートし、地域奉仕活動、ボランティアに力を注いでまいります。

現在力を入れている地域奉仕といたしまして、西山竹林再生プロジェクトがござります。今年で4年目となり、荒れた竹林を整備し、現在では、春には筍狩りとバーベキュー、夏には流しそうめんと、地域の方々と交え地域奉仕と交流を楽しんでおります。



これからも35年40年と月日を重ね、歴史あるクラブ、そしてYMCA、地域の方々と共に成長していけるクラブになりたいと思っております。

YMCA
ワイズメンズクラブ

京都ウエスト ワイズメンズ クラブ

京都ウエストワイズメンズクラブ
第 34 期会長 塚本 勝己

第一例会：第 2 木曜日 三条YMCA
第二例会：第 4 木曜日
京都ロイヤルホテル&スパ
設立年月日：1980 年 3 月 14 日
メンバー数：30 名



パソコンを学んで広がる「世界の窓」

現代の社会において、インターネットによる情報化の波は、非常に速いスピードでおそって来ました。

視覚障害者(児)や高齢者・単独外出の困難なかななど情報弱者といわれる人々にとってパソコンの利用は情報の入手手段、職域開拓、ひいては自立と社会参加等の意味からも非常に重要なものになってきています。

当会はこうした人たちのパソコン活用・スキルアップをサポートして今年で 15 年を迎えました。



活動を始めた頃は、全国的にもこのような活動をしているところは少なく、毎回多くの受講希望者がおられました。

近畿地域はもとより、三重県など遠方からの受講者もおられました。

各地域で同様の活動が始まると、受講希望者は減ってきましたが、この 15 年間で、受講希望者がおられなかった期間は数ヶ月程度です。

積極的な広報活動などはしていませんが、口コミなどで、広がってきています。

これからも、地道に活動を続けていきます。

パソコン指導など、当会にご興味をもたれた方からのご連絡をお待ちしています。

当会の主な活動内容はつぎの通りです。

- ・主に視覚障害者を対象としたパソコンの操作指導(教室および、出張指導)
- ・iPad、iPhone の操作指導
- ・上記の体験教室、相談会の開催、サポーターの育成等

URL: <http://www.win-kyoto.org/>

E-mail: office@win-kyoto.org

YMCA
ボランティアビューロー

京都福祉情報ネットワーク (win-kyoto)

京都福祉情報ネットワーク

園 順一

設立年月日: 1999 年 1 月 17 日

メンバー数: 10 名

ウィズキッズスマイルは、京都府立医科大学附属病院と京都大学医学部附属病院の小児科病棟を訪問するプログラムです。そこでは月に 1 回ずつ、入院している子どもたちと歌を歌ったり、人形劇をしたり、ゲームをしたり、クラフトをしたりという楽しい時間を過ごしています。私たちは普段キャンプリーダーとして活動し、並行してこの病院訪問プログラムの企画から実施に至るまでの活動をしています。入院生活をしている子ども達は、治療や検査によって身体的苦痛を強いられるだけでなく、日常生活で味わったことのない不安に襲われることもあります。病棟内は、空調によって常に温度、湿度は一定に保たれています。そのため病棟内では、外気に触れることはもとより季節を感じることもままなりません。また、病棟内への人の出入りも厳しく制限されているため、子どもたちが接するのは主に医療従事者と保護者に限られています。このように、入院中の子どもたちはとても限定的な環境の中で日々過ごしています。

入院中の子どもたちにとって、私たちボランティアリーダーは外部の人間と接することのできる数少ない存在であり、貴重であります。ですが病棟内には治療の影響などで免疫力が極端に低い子どもたちもたくさんいます。ですから私たちリーダーは、手洗いうがいによる感染対策はもちろんのこと、持ち込むものすべての消毒を毎回徹底し、万全を期しています。

府立医大病院の小児医療センターには 3 つのプレイルームがあり、各 40 分ずつのプログラムを準備していきます。プログラムは毎月できるだけ季節を感じられたり、実際の体験に近くなるように心がけています。前述のように、健康な人と同じようにはできませんが、ちょっとした工夫をすることで違う形で外の世界を見せてあげることができます。例えば桜の花びらを押し花にしてラミネート加工することで、桜を手にとって

YMCA に つながるわたしたち



春を感じることが出来ます。新品のカヌーを持ち込み、ライフジャケットを着てパドルを持ちカヌーに乗ることで、実際に乗る体験をすることができます。その時には、カヌーの触先にスクリーンを置いて、そこに実際にカヌーで漕ぎ進んでいる映像を映して臨場感を出すのです。このように限定された環境を最大限に使い、子どもたちがいろんなことを見たり、聞いたり体験を通して楽しめるプログラム作りを意識しています。こうして入院生活に変化を与え、これが子どもたちにとっていい刺激になればと考えています。

私たちは子どもたちの病気を治療することはできません。しかしリーダーだからこそできる関わりがそこにあり、この活動が子ども達の精神的負担を和らげ、将来子どもたちが闘病経験を前向きに受け止めるきっかけになることを願っています。

YMCA
ユース

ウィズキッズスマイル

ウィズキッズスマイル
チーフリーダー 中村 晴子

活動日: 月各 1 回

場 所: 京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院

活動開始年月: 2003 年 3 月

メンバー数: 6 名